

(別紙様式)

## 男女共同参画推進モデル校取組報告書

報告日：平成26年4月8日

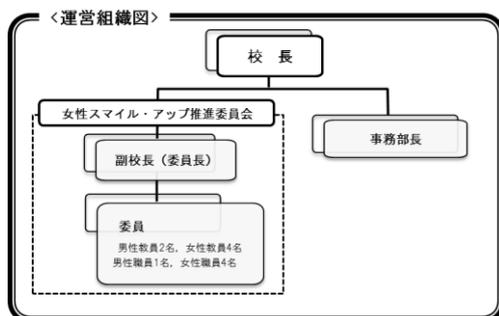
### 1. 高専名

富山高等専門学校

### 2. 取組期間

平成24年10月～平成26年3月

### 3. 実施体制（取組組織、取組責任者等）



### 4. 取組の達成状況及び他高専への波及効果

※成果目標（取組計画と期待する成果）における取組期間中（平成24年度～25年度）全体を通じての達成状況と他高専への波及効果について記述してください。

女性教職員の比率向上を図る上で、東海北陸地区女性教職員との意見交換を行い、女性教職員の就労環境の整備の必要性が明らかになった。そのため、校内で「職場環境改善のためのチェックリスト」を作成し、実態調査及び分析した。この結果は学内教職員やホームページでも公開しており、他高専の参考にもなっている。

女子大学院生を対象として、オープンセミナーを実施して高専教員という職業をアピールした。その結果、その後募集した高専インターンシップにも大学院生の応募があり、近隣大学への情報の広がりが見られた。特に高専インターンシップは、その後他高専でも実施されており、着実に活動の定着が見られるようになった。

女子学生に対する取り組みにおいては、海外の女性企業家を招き、ワークショップを行ったり、講義をしてもらったりした。さらに、高専機構キャリアカウンセラーを招き、女子学生との懇談会を通し、ライフワークバランス等について話をしてもらうことにより、女子学生の意識も変わった。また、その様子を高専祭で発表することで、学外者にも広く知ってもらうことができた。

### 5. 取組実績の説明

※女性教職員の比率向上を図る取組を必須として、取組計画の各項目に対して取組期間（平成24年度～25年度）に実施した内容、実績について記述してください。また、取組内容を示す資料（例えば、配布物、アンケート、写真など）を添付してください。

(1) 女性教職員の比率向上を図る取組（必須事項）

・東海北陸地区女性教員との意見交換会【平成24年度】

平成25年1月11日に東海北陸地区各高専（豊田，鳥羽商船，鈴鹿，岐阜，福井，石川）の女性教員による意見交換会を開催し，各高専の現状について情報共有を図るとともに女性教職員を増やすために必要な環境等について意見交換を行った。



・女子大学院生へのインタビュー【平成24年度】

平成25年2月～3月，近隣大学で学ぶ女子大学院生等にインタビューを行い，就職するに当たり重視する点や要望等を聞き取り，女性教職員が応募しやすい，あるいは長く勤められる環境を整えるための情報収集を行うとともに，高専のPRを行った。



・モデル校取組紹介リーフレットの作成【平成24～25年度】※別添資料1-1～3

本校の男女共同参画への取組について紹介するリーフレットを作成し，近隣大学を中心に配布した。

・女子大学院生のためのオープンセミナー【平成25年度】

平成25年9月5日に「女子大学院生のためのオープンセミナー アカデミックキャリア-高専教員への道-」を開催し，就職を控える女子大学院生を対象に，高専で行われている教育・研究活動の一端を紹介し，魅力をアピールした。県内外から集まった7名の女子大学院生を含め，本校学生及び教職員約40名が参加した。



・富山高専インターンシップ【平成25年度】

大学院生に高専の良さを体験してもらうため，就労体験（インターンシップ）の制度を整え，女性スマイル・アップ委員会が受入れ窓口となり，9月～11月にかけて各キャンパス1名ずつの女子大学院生の受入れを行った。



・女性スマイル・アップ推進委員会による企画展示【平成25年度】

平成25年11月2～3日に本郷キャンパスで開催された高専祭において，女性スマイル・アップ推進委員会の企画展示として，インターンシップ研修生の体験報告を含む取組紹介のポスターを作成，展示し，高専教職員の魅力についてPRを行った。

(2) 女子学生の比率向上及びキャリア教育の充実

・企業戦略に合った特色ある女子学生の育成に関する意見交換会【平成24年度】

平成25年1月24日に海外の女性企業家を招き，企業の即戦力となる富山高専らしい女子学生の育成について意見交換会を開催し，アドバイスをいただいた。（参加人数 25名）



・女子学生対象ワークショップ【平成24年度】

平成25年1月25日に就職を控える本校女子学生を対象に，上記の女性企業家によるワークショップを開催し，グローバル企業が求める人財像や企業へのアピ

ール方法等を学んだ。(参加人数 16名)

・高専機構キャリアカウンセラーと女子学生との懇談会【平成24年度】

平成25年1月18日に高専機構キャリアカウンセラーと本校女子学生との懇談会を開催し、意見交換が行われた。

・富山高専女子学生の魅力アピール及び就職先の充実に関する講演会【平成25年度】

平成25年7月1日に県内企業女性管理職の本校OGを招き、本校女子学生の魅力アピールと就職先を充実させるための方策について学ぶとともに、学生指導等に役立てる目的で講演会を開催した。(参加人数 28名)



・女子中学生向けパンフレットの作成【平成25年度】※別添資料2

女子学生の比率向上のため、女子中学生向けパンフレットを作成し、中学校訪問やオープンキャンパスの際に配布し、PRを行った。

(3) 女子学生及び女性教職員のための安全かつ快適な修学・就労環境の整備を図る取組

・男女共同参画推進のための訪問調査【平成24～25年度】

女性スマイル・アップ推進委員会委員による男女共同参画推進についての取組に係る先進機関への訪問調査や各種セミナー等への参加を積極的に行い、環境整備のための情報収集を行った。

・チェックリストによる調査・分析【平成24～25年度】

女性教職員の就労環境の実態・要望を把握し改善点を明らかにするため、「職場環境改善のためのチェックリスト」を作成し、実態調査及び分析を行った。

・各種制度の充実【平成24～25年度】

教員短期研修制度や新任教員へのメンター制度を創設し、女性教員のみならず教員の働きやすい環境整備を図った。また、モデル校事業の一環として、ベビーシッター・休日保育利用料補助事業を実施した。

(4) その他男女共同参画推進のための取組

・高専機構キャリアカウンセラーによる講演会【平成24年度】

平成25年1月18日に高専機構キャリアカウンセラーによる講演会を開催し、男女共同参画及びワーク・ライフ・バランスへの意識向上を図った。(参加人数 41名)



・ウェブサイトによる情報発信【平成24～25年度】

女性スマイル・アッププロジェクトのWEBサイトを立ち上げ、各種男女共同参画推進事業や教職員に有益な情報を積極的に公開し、情報発信を行った。



・リーフレットによる啓発活動【平成24～25年度】

(1)に述べたリーフレットを教職員にも配布し、学内における男女共同参画への意識向上に努めた。

・関連図書の実践及び啓発活動【平成25年度】

両キャンパス図書館にキャリア教育や男女共同参画推進に活用できる図書を選定・配置した。また、同時に射水キャンパス図書館フロアにおいて、高専祭の際に作成したポスターの展示を行い、本校学生及び教職員への啓発活動を行った。

## 6. 実施上の問題点

※実施上の問題点があれば具体的に記述してください。

- 女子大学院生へのインタビューでも明らかになってきたが、高専教員を目指す上でいくつか課題があることがわかった。その一つは、学位取得の問題である。高専教員として採用された後、学位取得が可能になるシステムを作り上げる必要があることがわかった。
- 学内の教員の意識啓発をどのように行っていけば良いかを今後検討する必要がある。男女が協力して良い職場を作り上げることができる雰囲気作りをしていきたい。
- 高専教員の良さを学外へアピールする手段を増やしていきたい。ホームページなどを積極的に活用して女子大学院生が高専教員を目指してくれるように努力する必要がある。

(注) 平成25年度予算執行状況について、平成25年6月25日付けで通知した予算配分費目ごとの状況を別葉で作成し、本報告書に添付してください。